

令和5年11月30日

生徒指導だより

高松っ子通信

高松小学校校長 岸 洋平
生徒指導主事 松田 金義

1. 2学期の様子

子どもたちは、9月は「協力して活動しよう」、10月は「正しい姿勢を身につけよう」、11月は「学び合いのある授業をしよう」という生活目標のもと学校生活を送っていました。運動会や創立150周年記念式典では、本番もそうですが、練習や準備の段階から一人一人が自分で考え、友達と協力して物事を成し遂げようと頑張っていました。その頑張りが11月の授業でもまだまだ継続しています。また、学習時の姿勢が素晴らしい子も多く、高松っ子姿勢名人になる子がたくさんいました。



学年全員で学ぶ



よい姿勢の1年生



一緒に学び合える関係性

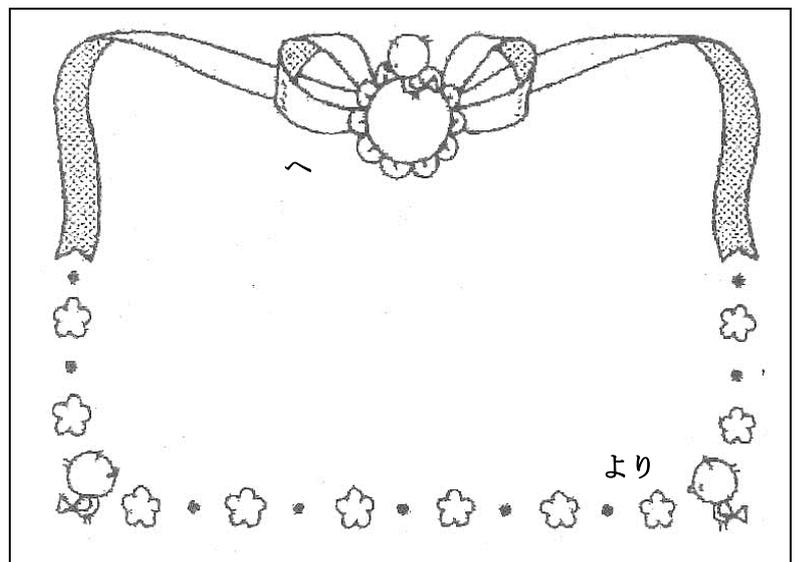
2. 12月の生活目標 《友達のよいところを見つけよう》

9月初め、教職員全員で高松小学校の児童全員に「いいところ見つけ」を書きました。夏休みの課題の素晴らしいところ、2学期の生活でがんばっていること、児童本人の良さ、1学期から成長していることなど様々ないいところが見つかりました。また、友達のすばらしさを自分たちで見つけ、「いいところ見つけ」を渡している児童もたくさんいました。

12月は、学年や学級の友達、異学年の友達に「いいところ見つけ」を書く予定です。この活動を通して、相手を思いやる言動がとれる児童、どの子にも優しくみんなで仲良くできる児童になってほしいと考えています。

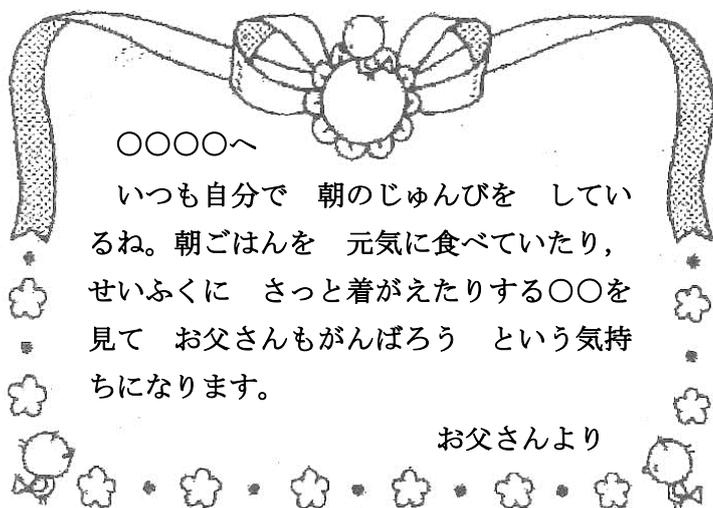
さて、11月下旬に全校児童が保護者の皆様に対して「いいところ見つけ」を行いました。本日、書いた用紙を家庭に持ち帰っている予定です。言葉が足りなかったり、内容がうまく伝わらなかったりするものもあるかと思いますが、**いいところ見つけを書いた児童の、日頃からの感謝の思いや優しい心を認め、受け止めてあげてください。**

そして、右の用紙を使い、**お子さんの「いいところ見つけ」を行ってください。**小学生にとって家族の存在は大変大きいものです。だからこそ、高学年になっても**家族からの優しい声かけが日々の励みとなり、心の栄養になります。**ぜひ、この用紙を使って、いいところを書き、直接渡してあげてください。きっとお子さんにとっての大切な宝物になることでしょう。



なお、いいところを見つける際に、下記のことを参考にしてください。

- ・アイメッセージ…子どもの言動に対して、自分がどう感じたか
お母さんは～だと思っているよ。お父さんは～という気持ちだよ。
- ・日々の生活のこと…あいさつ、メディアのルール、自立など当たり前のことができるのがすごい
- ・絶対に比較しない…その子自身のよさは人と比較する必要はありません
- ・現状を認める…いいところ見つけでは、今の子どものよさを伝えます。子どもに要求しません
- ・例)



3. なかよしチェックアンケート(12月実施)より

12月8日(金)～13日(水)の期間になかよしチェックアンケートを実施します。毎月行っていますが、今回は**ご家庭で保護者の方と一緒に回答していただきます。**いじめられている子どもは、家庭においてもサインを出している場合があります。もし以下のようなサインがあれば、お子さんとじっくり話したり、学校に連絡したりしてください。(6月の通信に載せたものと同じものです)

<いじめられている子どもが家庭で出すサイン 例>

- ・衣服の汚れが見られたり、ケガをしたりしている
- ・買い与えた学用品や所持品が紛失したり、壊れたりしている
- ・食欲がなくなったり、体重が減少したりする
- ・表情が暗くなり、言葉数が少なくなる
- ・言葉使いが荒くなり、親や兄弟に反抗したり、八つ当たりしたりする
- ・登校時刻になると、頭痛、腹痛、吐き気などの肢体の不調を訴え、登校を渋る
- ・投げやりで集中力がわかない。些細なことでも決断できない。

いこう(150)
高小

